

# オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第94号

2022年2月16日

<http://www.australianstudies.jp/>

## 1. オーストラリア学会 2022年度総会・全国研究大会 概要

新型コロナウイルスの波と社会活動の継続のバランスを模索している段階にありますが、22年度全国研究大会はハイブリッド形式での実施を予定しております。状況によっては変更の可能性もありますので、詳細は次回会報にてお知らせいたします。コロナ禍で個人と社会、中央と地方、国家と世界など、様々なレベルでの立ち位置や社会のあり方や働き方が再考される現在、ローカルとグローバルの関係性でオーストラリア研究を促えることを統一テーマとして、全国大会を開催します。

日時：2022年6月18日（土）・19日（日）

会場：関西学院大学上ヶ原キャンパス

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

会場アクセス：<https://www.kwansei.ac.jp/access/>

担当：長友淳（関西学院大学）

※プログラムは変更される可能性があります。詳細は会報次号にてお知らせいたします。

### □第1日目：6月18日（土）

10:00 理事会（B号館104教室）

12:45 受付開始（B号館1階ロビー）

13:30 開会セレモニー

14:00-14:50 特別講演（調整中）

15:00-17:00 豪日交流基金（AJF）助成シンポジウム1 ※同時通訳あり

**日豪の先住民研究における「応答」**

**(Call and Response of Indigenous Studies in Australia and Japan)**

司会：友永雄吾（龍谷大学）

報告者：サナ・ナカタ（メルボルン大学）

石原真衣（北海道大学）

ジェフリー・ゲイマン（北海道大学）

質疑応答・討論

17:30-19:30 懇親会（調整中）

※新型コロナウイルスの状況によって中止の可能性あり

### □第2日目：6月19日（日）

10:00-12:00 一般個別研究報告（B号館101教室/103教室）

12:00-13:30 理事会（B号館104教室）

昼食休憩（休憩室 B号館103教室）

13:30-13:45 総会（B号館101教室）

14:00-16:30 豪日交流基金（AJF）助成シンポジウム2 ※同時通訳あり

**越境する人と文化：コロナ禍における観光と移動をめぐる諸問題**

**(Transnational Flows of People and Culture: Issues of Australian tourism in the COVID-19 crisis)**

司会：吉田道代（和歌山大学）

報告者：永井隼人（和歌山大学）  
          モニカ・チェン（クイーンズランド大学）  
          ポール・サマーズ（クイーンズランド州政府観光局）  
討論者：川島久美子（立教大学）  
          柏木 翔（神奈川大学）  
質疑応答・討論  
16:30 閉会挨拶

## 2. 第11期第6回理事会報告

日 時：2021年12月5日（日）15:00-16:30

場 所：オンライン会議システム（Zoom）を利用したオンライン会議

出席者：藤岡伸明、藤田智子、濱野健、一谷智子、鎌田真弓、加藤めぐみ、栗田梨津子、南出眞助、村上雄一、永野隆行、長友淳、塩原良和、杉田弘也、津田博司、堤純（以上、理事、ABC順）、加賀爪優（以上、監事）

議事に先立ち、南出代表理事より、福島大学での研究大会開催にあたって関係者への謝意、ならびにFASIC（在中国オーストラリア研究基金）2021年度研究大会シンポジウムに学会代表として出席した濱野理事への謝意が表明された。

### 【報告事項】

1. 堤理事より、2022年度大会（関西学院大学）について、AJFと在日オーストラリア大使館から25,080豪ドルの助成を受けることになった旨の報告が、2023年度大会（神奈川大学）については、2022年3月末締め切りのAFJ申請に向けて準備を進める旨の報告があった。長友理事からは、2022年度大会について、6月18日、19日に対面方式で実施するとともに、大会の動画を残し、公開する旨の報告が、杉田理事からは、2023年度大会について、児童文学および安全保障関係のテーマで企画を進めていく旨の報告があった。
2. 塩原理事より、学会誌35号の原稿締め切り延長と投稿状況についての報告があった。また、EBSCO Publicationとの契約書が交わされ、35号から適用される旨の報告があった。
3. 濱野理事より、FASICシンポジウム参加の報告があった。同シンポジウムに出席していた韓国のパネリストより、ASAJとの学術交流を進めたい旨申し出があった。

### 【審議事項】

1. 村上理事より、来年度の国際文献社との契約について、資料に従って説明がなされた。会員の減少により契約金の請求額が若干減少していること、また終身会員希望者対応1000円/件については今後内容を確認の上、交渉・検討することとし、本案は承認された。
2. 塩原理事より、投稿要領の改訂について、図表のカラーでの掲載を希望する場合の対応、およびウェブサイトに掲載された情報を資料として引用する場合の情報の提示方法に関する文言の追加が提案され、承認された。
3. 永野理事より、インターネット資料収集保存事業（国立国会図書館）について、学会ウェブサイトの資料保存提供を全面的に許可することが提案され、承認された。  
また入会3名、退会2名、未納退会5名に関する報告があり、承認された。なお出席理事より、会費未納によるみなし退会者については、研究大会参加についての内規があるので、確認されたいとの発言があった。
4. 濱野理事より、全国大会での中国オーストラリア学会の個別報告の呼びかけ、および韓国からの参加の呼びかけの可否が問われ、可とすることで承認された。  
また、①海外からの参加者がオンライン出席となった場合の参加費の徴収方法、②ASAJとして国際学術交流に対する方針について問題提起があり、①については現状ではペイパルでの支払いで対応し、②については今後検討を続けることが確認された。

以上

### 3. 国際会議参加報告：2021 FASIC Sustainability Symposiums

濱野 健（北九州市立大学）

2021年11月23日、26日、および29日の三日間、The Foundation for Australian Studies in China (FASIC) による、2021 FASIC Sustainability Symposiums: Enhancing Sustainable Ties and Future Contributions と題した国際会議がオンライン上で実施された。FASIC による国際会議が開かれるのは2019年の第7回大会に続き、今年で8回目となる。会議は三日間にわたり、以下のように実施された。

会議の主たるテーマは豪中関係、両国間での高等教育および水資源問題に関する持続的な交流と協力を骨子とした内容であった。それに加えて日本オーストラリア学会を初めとした他国のオーストラリア研究団体の代表も参加し、アジアを中心としたグローバルなオーストラリア研究共同体のあり方や今後の協力関係を確認し合うための機会として位置づけられ、FASIC および Professor Kee Pookong (BHP Chair of Australian Studies in China at Peking University) によって運営された。11月23日の会議初日では、'The Future of Australia-China Higher Education Ties' と題され、両国間における高等教育の相互交流の重要性について確認されると共に、そうした交流事業をさらに活性化させるための具体的な取り組みの可能性について議論が行われた。11月26日の会議二日目には、Australian Studies in China and East Asia - Achievements and Future Perspectives というテーマで、オーストラリア、中国、日本、韓国などのオーストラリア研究者が出席し、これまでの研究学術交流について振り返ると共に、将来の更なる交流の促進についてそれぞれの地域の社会的または学術的な環境を踏まえながら活発な意見交換が行われた。最終日の11月29日には Working Together on Water - Approaches and Exchanges in Water Management というテーマでの会議が開かれ、豪中両国間での水問題への意識への共有とその解決に向けた協力関係が確認された。

FASIC から日本オーストラリア学会に対し、二日目の会議への招致があった。当日用務がある現理事長の代理として、理事の濱野健が会議に出席した。会議に先駆け、Professor Colin Mackerras による“Decades of Achievement” のフィルムスクリーニングが行われた後、Panel 1 “Developing Australian Studies in China: A discussion with the Inaugural BHP Chair & CAAS” および Panel 2 “The Future of Australian Studies: New Approaches & Diverse Voices” が開始され、濱野は Panel 2 に出席した。こちらのパネルでは Emeritus Professor David Carter (University of Queensland, FASIC Board Member) の司会進行のもと、Mr. Li Jianjun (Director, Australian Studies Centre, Beijing Foreign Studies University)、Professor Heejin Lee (Director, Australian Studies Center, Yonsei University)、濱野（日本オーストラリア学会）が出席した。パネリストはそれぞれの団体および社会における近年のオーストラリア研究について端的に報告を実施し、その後で司会の Prof. Carter から、将来のオーストラリアとの研究関係を発展させる上で必要な取り組みについて各報告者に質問が行われた。参加者からは、両国間の研究のみならず学生同士の交流事業も必要であるという意見や、オーストラリアとの研究のみならず、日中間の各研究団体が相互に交流を高め合うことの意義、そしてそれぞれの団体や社会を通して将来のオーストラリア研究者の育成にも積極的に取り組むことの必要性と、そうした若手研究者をめぐるジョブ・マーケットの現状についての情報共有などが行われた。

会議終了後には、韓国から出席していた Heejin Lee 教授と濱野との間で自発的な連絡のやりとりが行われ、現在日本オーストラリア学会が中国オーストラリア学会と実施しているような国際交流の将来的な実現に向けて意見交換を行った。その経緯については、2021年12月の理事会にて本大会の参加報告とあわせて報告が行われた。

### 4. 第30回地域研究会（関西例会）案内

2020年3月以来延期中の第30回関西例会の実施日程については、学会公式ホームページ、Facebook および会員メールなどで追ってお知らせいたします。

### 5. 終身会員制度について（再度のご案内）

会員として長年にわたり本会の発展に多大な貢献をしたことへの感謝と、学会活動への参加継続を目的に、終身会員制度を導入することが、2021年度全国研究大会に併せて開催された総会にて承認されました。なお終身会員は呼称であって、会員種別ではありませんのでご注意ください。2022年度分の会費から対象となります。

### 【対象者】

会員のうち、次の(1)、(2)いずれにも該当し、本人からの申し出があった方を対象とします。

- (1) 一般会員（院生を除く）で、10年以上の会員歴を有し、当該年度から遡って10年間において会費を完納している方
- (2) 当該年度中に満70歳以上となる方

### 【資格】

終身会員の資格は、正会員と同等です。

### 【会費】

終身会員となるには、会費5年分に該当する額〔¥40,000〕を一括納入していただく必要がございます。なお終身会員の会費を納入いただいた後に退会をしても会費は返却できません。

### 【お申し込み方法】

- (1) 終身会員制度の利用を希望される方は、1月1日～2月末日までに事務局にメールにてその旨をご連絡ください。その際に①お名前、②生年月日、③現住所をお知らせください。
- (2) 事務局が10年間の会費納入歴を確認し、制度適用の可否をご連絡いたします。
- (3) 会費の振込用紙をご利用いただき、3月末日までに会費をお支払いください。

### 【その他】

終身会員になってから当初5年間は『オーストラリア研究』をご登録住所に送付させていただきます。ただし6年目以降は毎年、印刷物をお送りする際、次年度以降も印刷物の送付を希望されるかどうかを確認させていただきますので、印刷物に同封の返信用はがきにてご連絡ください。年度内最終日までにお返事がなかった場合には、「印刷物送付の希望なし」と見なして、印刷物の送付を停止させていただきます。あらかじめご承知おきください。

## 6. 会費納入のお願い

年会費の請求は年度の始まり4月に行いますが、年会費が納入されると、納入時期にかかわらず未払い年度がある場合そこへ充当されます。たとえば2022年2月に年会費を納入しても、2020年度未払いの場合、それは2020年度の会費となります。すなわち、2021年度は未納ということになります。また2019、2020年度未払いの場合、2019年度分の会費納入になります。

＜会費が未納となっている会員の皆様へ＞

会費が未納の皆様へは、請求を別便にて送付します。未納年度分（2021年度を含め最多3か年）を速やかに振込票にて納入願います。未着の方はアカデミーセンター「オーストラリア学会」担当宛までお知らせ願います。なお、会費振込票に会員名の記載がない場合、振込会員を特定できないため、必ず会員名をお書きください。また原則領収書は発行しておりません。郵便振替票の受領書などをご利用願います。

会費未納の会員の皆様には、当該年度の会費納入が確認され次第、学会誌『オーストラリア研究』（現在2021年3月発行、第34号）までをお送りしております。事務局では3か年分の在庫を保管しておりますので、順次発送しておりますが、お手元に届くまで若干時間がかかる場合もあります。会費納入にもかかわらず未着の学会誌がありましたら、恐縮ですが、学会事務局（アカデミーセンター）にご連絡ください。

## 7. 「マイページ」登録と内容更新のお願い

オーストラリア学会では会報の電子化を進めて参りました。2019年度まで学会直前号のみ他の配布物と併せ紙媒体で発行していましたが、2020年度より学会直前号を含むすべての会報を電子化しました。会報電子版は学会ウェブサイトに掲載されますが、発行のお知らせは「マイページ」に登録された電子メール宛てに送られます。アドレスの登録・確認・更新をお願いいたします。

マイページ URL : <https://www.bunken.org/asaj/mypage/User>

## 8. 『オーストラリア研究』 投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

オーストラリア学会では、『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けております。2021年12月5日付で投稿要領を改訂しました。改訂版の投稿要領・投稿申込書・投稿先はウェブサイトをご参照ください (<http://www.australianstudies.jp/publish/youryou.html>)。投稿申込書もウェブサイトからダウンロードしてください。2023年3月刊行予定の第36号の投稿は2022年8月末で締め切ります。不明な点などがあれば、編集担当理事・塩原良和 ([shiobara@law.keio.ac.jp](mailto:shiobara@law.keio.ac.jp)) までお問い合わせください。

第12号以降、会員の研究文献目録を掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などの中から、オーストラリア学会の趣旨に関係する研究文献を選び、電子メールでお知らせください。締め切りは2022年10月30日です。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に準ずる形でお送りください。

投稿先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター「オーストラリア学会」担当

TEL：03-6824-9372 FAX：03-5227-8631 Email：[asaj-post@bunken.co.jp](mailto:asaj-post@bunken.co.jp)

『オーストラリア研究』ウェブサイト：<http://australianstudies.jp/publish/index.html>

## 9. 新刊書のご案内



ミシェル・ド・クレツァー(著)、有満保江・佐藤涉(訳)『旅の問いかけ』現代企画室、2022年1月刊行、四六判、624頁、2,500円＋税

驚きに満ちていて悲しい。それが旅だった。オーストラリアとスリランカ。遠く隔たった二人の主人公の半生と束の間交錯するその道のりが紡ぎ出す、現代世界をめぐる「旅」の諸相。

「この美しく組み立てられた小説の独創性と奥深さを、限られた紙幅で描写することはとてもできない」(A・S・バイアット)。各国の批評家から絶賛され、著者を一躍世界的作家に仲間入りさせたオーストラリア現代文学屈指の傑作、待望の邦訳。

写真と説明文の出典：現代企画室ウェブサイト

<http://www.jca.apc.org/gendai/onebook.php?ISBN=978-4-7738-2112-3>

### 【諸届出／連絡先】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター「オーストラリア学会」担当

TEL：03-6824-9372 FAX：03-5227-8631 Email：[asaj-post@bunken.co.jp](mailto:asaj-post@bunken.co.jp)

### 【オーストラリア学会事務局】

〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1-1 獨協大学外国語学部 永野隆行研究室気付

TEL：048-943-1242 Email：[tnagano@dokkyo.ac.jp](mailto:tnagano@dokkyo.ac.jp)

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※ 本会報は学会記録のほか、会員からのご意見や著書・新刊情報などを掲載します。学会事務局までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。

[編集担当：藤岡伸明(静岡大学) / 編集協力：小野塚和人(神田外語大学)]